



1月給食だより

あたらしとしむかきゅうしよくしついちどうきもあらあんしんあんぜんおいよろこ
新しい年を迎え、給食室一同、気持ちも新たに「安心安全で美味しく、喜ばれる
給食」作りに励んで参りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



1月の予定と献立内容

1月11日(木) おせち・七草・鏡開き献立

料理に込められた
願いを知ろう

おせちのきもち



「おせち」とは、もともと季節の変わり目の節日に食べた料理ですが、今では正月に食べるお祝いの料理をさします。それぞれの料理には、新しい年がよい年となるよう、様々な願いが込められています。

田作り・たたきごぼう



田作りは、昔、いわしを田の肥料にしたことから、たたきごぼうは豊作になると飛んでくる黒い鳥にあやかり、どちらも豊作を願って食べられます。

数の子・さといも・八つ頭



数の子、さといも、八つ頭は、どれも卵やいもの数が多いことから、子孫繁栄を願って食べられます。

黒豆



黒には魔よけの力があるとされ、「まめ(元気)で暮らせるように」と願って食べられます。

伊達巻き・きんとん



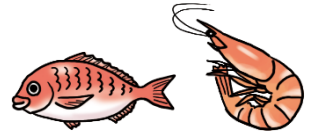
伊達巻きは巻物(巻物)に似ているので、知識が増えるように、きんとんはお金持ちになるように願って食べられます。

昆布巻き・くわい・れんこん



昆布巻きは「よろこぶ」、目がたくわいは「めでたい」に通じ、れんこんは「先が見通せる」として食べられます。

たい・えび



たいは「めでたい」に通じ、えびは腰が曲がるまで長生きできますようにと願って食べられます。



七草がゆ



春の七草「せり、なすな、こぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ」を入れたおかゆ。



1月7日の早朝(または前日夜)に、まな板の上にて七草を並べて包丁で叩きながら、「七草なすな 唐土の鳥が日本の国に渡らぬ先に…」などと七草ばやしを唱える風習があります。
※歌詞は地域や家庭によって異なります。

小豆がゆ



赤い色が邪気(病気や災難など)を払うとされる小豆を入れたおかゆ。



無病息災を願ひ、小正月の朝に家族全員でいただきます。小正月には、やぐらを組んで正月飾りや書き初めなどを燃やす「どんと焼き」や「左義長」などと呼ばれる伝統行事もあります。






1月24日～30日は学校給食について知ろう!

学校で食べる給食は、単なる昼ごはんではなく、栄養バランスのとれた豊かな食事を通して、健康に良い食事のとり方、地域の産業や食文化、食べ物とそれに関わる人への感謝の気持ちなどを学ぶための教材となるものです。このように、現在ではさまざまな教育的効果が期待される学校給食ですが、もともとは、おなかをすかせた子どもたちのために、学校で昼ごはんを提供したことが始まりでした。学校給食がとどった歩みを見てみましょう。

学校給食の始まり



日本の学校給食は、1889(明治22)年、山形県鶴岡町にある大督寺というお寺の中に建てられた私立忠愛小学校で始まったとされています。大督寺のお坊さんが家々を回ってお経を唱え、いただいた米や野菜、お金を使って、貧しい家庭の子どもたちに食事を用意しました。その後、学校給食は、子どもたちの栄養を改善するための方法として各地へ広まっていきましたが、戦争による食料不足の影響で実施できなくなってしまいました。26日(木)は明治22年ごろの給食にちなんだ献立です♪



明治 22 年ごろ	大正 12 年ごろ	昭和 17 年ごろ
 <p>おにぎり 塩ザケ つけもの漬物</p>	 <p>ごしき 五色ごはん えいよう 栄養みそ汁</p>	 <p>すいとんのみそ汁</p>

支援物資による学校給食の再開

戦争が終わり、子どもたちの栄養状態の悪化が心配されたことから、1946(昭和21)年に、アメリカのLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受け、翌年1月から学校給食が再開されました。当初は給食用物資の贈呈式が行われた12月24日を「学校給食感謝の日」としましたが、1950(昭和25)年度からは冬季休業と重ならない1月24日～30日を「全国学校給食週間」とすることが定められました。



30日(火)は昭和27年ごろの給食にちなんだ献立です♪

昭和 22 年ごろ	昭和 27 年ごろ
 <p>ミルク(脱脂粉乳) トマトシチュー</p>	 <p>コッペパン ミルク(脱脂粉乳) 鯨肉の竜田揚げ せん切りキャベツ ジャム</p>

昭和25年に、アメリカから寄贈された小麦粉でパンが作られ、「パン・ミルク・おかず」の完全給食が始まりました。

学校給食は教育活動に



1954(昭和29)年に「学校給食法」が公布・施行され、学校給食は教育活動として実施されることになりました。それから、時代の移り変わりとともに、子どもたちの食生活を取り巻く環境は大きく変化し、学校給食の内容も変わっていきました。29日(月)は昭和40年ごろの給食にちなんだ献立です♪

昭和 40 年ごろ	昭和 51 年ごろ
 <p>ソフトめん ミートソース 牛乳 フライポテト 黄桃</p>	 <p>カレーライス 牛乳 塩もみ ゆで卵</p>

昭和30年代後半には脱脂粉乳が牛乳へと切り替わり、コッペパン以外のパンやソフトめんなど、主食の種類が増えていきました。米飯が正式に導入されたのは昭和51年のことです。